

第1回胎内市立中学校統合準備委員会 会議録

- 1 開催日時 令和7年8月29日(金) 午後1時30分から午後3時
- 2 開催場所 胎内市産業文化会館 会議室
- 3 議 題 胎内市立中学校の統合等についての情報交換
- 4 公開・非公開の区分 公開
- 5 出席者
委員長 小谷 太一郎
副委員長 近 京
委員 森谷 優子
委員 藤原 明
委員 村田 健
委員 松原 利弘
委員 南波 正夫
委員 松浦 富士夫
委員 渡辺 政喜
委員 今井 和彦
委員 齋藤 聡
委員 野沢 源治
委員 小田 大
委員 近 孝道
委員 安原 一也
委員 渡辺 桃子
委員 齋藤 奈美恵
委員 坂上 遥
委員 星野 利文
委員 伊藤 優子
委員 布川 由香
委員 天木 繭
委員 加藤 一絵
委員 小泉 真菜美

教育長	中澤 毅
学校教育課長	井上 正人
管理指導主事	池田 裕之
指導主事	中野 忠弘
指導主事	中村 祐一
指導主事	上山 陽之
学校教育係参事	横内 和幸
学校教育係主任	菅澤 真人

6 会議資料の名称

- 資料1 胎内市立中学校統合準備委員会条例
- 資料2 胎内市立中学校統合準備委員会委員名簿
- 資料3 諮問書の写し
- 資料4 胎内市立中学校の統合に関する方針
- 資料5 今後の予定（案）
- 資料6 これまでの経過と諮問内容について
- 資料7 ワークショップ（記入シート）

7 傍聴人の数 2人

8 会議の概要

(1) 開会

○学校教育課長（井上）

本日はご多用のところ、お集まりいただきありがとうございます。

本日は、出席者が過半数を超えておりますので、会議が成立いたしますことをご報告申し上げます。

それでは、開会にあたりまして、胎内市教育委員会教育長 中澤毅が挨拶申し上げます。

(2) 教育長挨拶

○教育長（中澤）

皆様、こんにちは。

本日は大変お忙しい中、ご参集いただき心より感謝を申し上げます。

また、中学校統合準備委員会の委員につきましても、快く引き受けていただきましたこと、御礼申し上げます。

それでは、統合準備委員会設置の趣旨について、説明させていただきたいと思えます。

ご存じのように、全国の大半の市町村において大きな課題となっております急激に進む児童生徒の減少などによる学校のあり方について、胎内市においても、今後の方向性を示していかなければならない時期にきておまして、その方向性を示すに当たって、胎内市の子どもたちにとって、より望ましい教育環境がどうあればよいのかということに関して、これまで、保育園、認定こども園、小中学校の保護者、コミュニティ・スクール、学校運営協議会、区長、それぞれ代表の皆さんを始め、小中学校長、それから、再編に詳しい学識経験者などの幅広い立場の方々と、これまで検討を重ねてまいりました。

そのような検討を重ねていただいた結果を踏まえまして、昨年、胎内市教育委員会では、今後、数十年後を見据えた胎内市の特に中学校のあり方についてのたたき台として、胎内市立中学校の統合に関する方針案を市報あるいはホームページ等でお示しし、また、全市民の皆さんに向けてのパブリックコメント、それから、胎内市産業文化会館での市民説明会、さらには、5つの小学校で計7回、園、小中学校の保護者の方、あるいは地域住民の皆さん合わせて、約240名の方々が集まっていただき、説明会等を開催させていただきました。

このことにつきましては、保護者の皆さんには、園あるいは学校を通してメール等で随時報告させていただきましたし、市民の皆さんには、市報等でお知らせしていきましたが、そのような説明会等でいただいたご意見などを参考にさせていただいて、事前に委員の皆様にもお渡ししておりますが、「胎内市立中学校の統合に関する方針」を今年の3月に策定いたしました。既にこれは市民の皆さんにも公開しているものでございます。

この方針に基づいて、おおよそ10年後をめどに4中学校を1校に統合した中学校を開設する準備を進めていくこととしておりますが、ご存じのように、予想される生徒数の急激な減少は依然として進んでおりますし、また、統合を進める場合でも、かなりの時間を要するわけでありまして、そういうことから、今後あまり時間をおかず、具体的な取組を進めていく必要がございます。今回、準備委員の皆様からは、統合中学校の適切な設置場所に加え、統合の方式や校名の決定方法など、中学校統合に当たって特に必要な事項について、検討・答申いただくことによって、中学校統合に向けた準備を着実に前に進めていきたいと考えているところでございます。

また、そのほか、統合に向けた様々な具体的かつ詳細な事項がございますけれども、そのことにつきましては、皆さんからの答申を踏まえて、教育委員会で適切な設置場所等について方向性を定めさせていただいた後に、新たに、これは仮称ではありますが、新しい中学校づくり推進委員会及びその専門部会等を設置して、改めて、それぞれ委員を選出させていただいて、具体的、そして詳細な検討をしてもらう、そんなふうと考えているところでございます。

このことについては、また後でスライドで皆さんに説明させていただきたいと思います。

改めて申し上げますが、委員の皆さんには、胎内市立統合中学校開設に向けて、まずは、前に歩み出すための特に必要な事項について、今回、検討、そして答申をいただくこととなりますことをご理解とご協力願えれば幸いです。

また、皆さんお一人お一人から可能な限り実直なご意見、ご質問をいただくことが第一でありますので、今回、グループごとに進行役として、市教委の指導主事を配置いたしまして、6名程度のグループでじっくり意見等を交換していただく方法をとらせていただければありがたいと思っております。

ただし、皆さんからの質問等にすぐ答えられない事柄もあるかと思っておりますので、そのような場合には、次回までに調べさせていただいて、回答するようにしたいと考えております。

なお、ご存じのように、胎内市生涯学習施設整備に関する検討も進められておりまして、その建設候補地の1つが統合中学校の候補地の1つと重なる場所もありますが、先ほども申し上げましたように、この中学校統合に関しましては、これまで審議を幾度も重ねた上で、今ほど申し上げましたように「胎内市立中学校の統合に関する方針」を策定して、方向性がすでに定まっておりますことから、委員の皆さんからは、生涯学習施設整備等にかかわらず、まずは胎内市の中学生にとってどこが統合中学校の設置場所として適しているかなどを中心にして検討の上、答申していただければ幸いです。

何よりも、胎内市の中学生が一定の集団の中で、豊かな学びや健やかな成長を実現できて、そして、子どもたちはもちろんのこと、保護者の方々や胎内市民の皆さんが誇りに思える統合中学校になるようにしっかりと準備を進めていきたいと考えておりますので、忌憚のないご意見等をいただけることをお願い申し上げます。私の挨拶と趣旨説明とさせていただきたいと思っております。

それでは皆さんどうぞよろしく願いいたします。

(3) 委嘱状の交付

<中澤教育長から小谷委員へ委嘱状交付>

<他の委員は机上配付>

(4) 自己紹介

<各委員自己紹介>

(5) 正副委員長の選任

<委員長は小谷太一郎委員、副委員長は近京委員に決定>

<正副委員長から挨拶>

(6) 諮問

<教育長から小谷委員長に諮問書交付>

(7) これまでの経過と諮問内容についての事務局説明

<事務局より配付資料に基づき説明>

(8) 胎内市立中学校の統合等についての意見交換（ワークショップ）

<4グループに分かれての意見交換>

○委員長（小谷）

ありがとうございました。

それでは、Aグループの方から順次発表をしていただきたいと思います。

○管理指導主事（池田）

Aグループでございます。

まず、望ましい統合方式についてですが、新設統合一択でした。

吸収される学校にしてみると切ないものがあると思いますので、その生徒の心情等を考えて、やはり新設統合というのがベストという考えでした。

特に大きい学校に統合するというかたちになると思うのですが、そうなればなおさら、この新設統合というのは大事になってくると思いますので、この一択でございました。

続いて、望ましい設置場所についてですが、人気がなかったのは胎内小学校の周辺でした。

多くの方が中条中学校とその周辺、またはふれすぼ胎内周辺の2つのところで揺れ動いているというところでした。

なぜその2つで揺れ動くかといいますと、中条中学校は道の狭さ、アクセス道路が問題なのではないかということ。もう1点は、駐車場の確保が難しいのではないかということでもあります。

ふれすぼ胎内周辺を希望される方々は、部活動のしやすさであるとか施設利用が非常にしやすいのではないかというようなご意見があったのですが、今の中条中学校の現状においては、ふれすぼ胎内だけで部活動をやっているわけではなくて、いろんなどころに出かけて行って部活動を行っているというような状況があるということでした。そして、そのように様々な地区に出かけて部活動をやっているというのはとても良い状況だというお話もありました。

そんなところから、道の拡幅、それから駐車場の確保等々ができれば、中条中学校周辺がいいなというお話がありました。

加えて、中条中学校ですと、道路が狭くてあまりいいような環境ではないというお話もあるのですが、市の中心部にあって、産業文化会館や中条高校など、いろんなどころにアクセスしやすく、教育活動がしやすいということ。さらに、地域住民の目が非常に届きやすく、安心安全だという意見が出されたというところでもあります。

Aグループは、以上でございます。

○委員長（小谷）

ありがとうございました。

続きましてBグループお願いいたします。

○指導主事（中野）

Bグループですが、望ましい統合方式については、6名の委員のうち、新設統合がよいという方が5名、吸収統合がよいという方が1名という意見でした。

新設統合がよいという方のご意見としては、4つの地域から子どもたちが集まってくるので、地域の皆さんが納得できること。また、子どもたちにとっては新しい中学校になるというわくわく感があることや、新しいところからスタートするといったところも魅力なのではないかということでした。

また、吸収統合がよいという方のご意見としては、今まで中条中学校で培ってきた歴史などを継承してもらいたいということでした。

続いて、望ましい設置場所についてですが、中条中学校あるいはその周辺が1名、ふれすぼ胎内周辺が2名、胎内小学校周辺が2名、ふれすぼ胎内又は胎内小周辺どちらかで迷っているという方が1名でした。

中条中学校周辺のメリットとしては、地域の方が子どもたちを見守ることができることや、子どもたちと地域との連携がとりやすいというお話がありました。それから、中条中学校の周辺には生徒も多くいますので、自転車を利用できる子どもたちも多くいて良いのではないかということでした。

その一方で不安材料としては、交通に関する不安、例えば400人から500人程度の子どもたちが4地域から来ますので、マイクロバスあるいは保護者の送迎等に関して不安があるという意見も多く出てきました。

ふれすぼ胎内周辺については、部活動等でふれすぼ胎内周辺の施設を利用できるというところは大きな魅力なのではないかというお話がありました。

ただ、一方で近くに工場等がありますので、工業排水や、なにか災害があったときに関する不安などのご意見がありました。加えて、ふれすぼ胎内やその周辺の施設は、中学生だけが利用しているわけではなく、市民の方が多く利用しているので、中学生以外の方が利用しづらくなるのではないかというご意見もありました。

胎内小学校周辺については、街や駅に近いということ、交通アクセスがよいということ、広い敷地が確保できるという点で良いのではないかという意見が出ました。

以上です。

○委員長（小谷）

ありがとうございました。

続きましてCグループお願いいたします。

○指導主事（中村）

Cグループです。

統合方式については、新設統合の方がよいという意見が多かったです。

ただし、吸収統合に関する意見として、親世代や祖父母世代の方々からは、自分が卒業した中学校の校歌を歌わせたいという声も聞こえてきます、というお話もありました。

また、とにかく早く統合してほしい、生徒数が少ないのは部活動や教育活動に様々な支障をきたしているんだというお話もありました。

そのほかに、統合に関しては、中条と乙・築地・黒川を比較すると、かなり温度差があるんじゃないか、危機感の違いがあるんじゃないかというお話もありました。

また、とにかく早く統合したいというお話があったときに、ある委員の方から、新しい校舎ができる前に今の中条中学校のところに他の3校も入って統合してもよいのではないかと、中条中学校にはそれだけのキャパもあるので早く統合して、しばらくその中で一緒に活動して、新しい校舎ができたら、そちらの方に移ればよいのではないかという話もありました。

望ましい設置場所については、6人の委員の方のうち、5人は中条中学校あるいはその周辺が良い、1名の方はふれすぼ周辺が良いということでした。

ふれすぼ胎内については、各地区から等距離であり良いのではないかというお話がありましたが、マイナスの部分としては水害に弱いのではないかという話

が出ていました。

中条中学校のメリットとしては、見守り体制の確保のしやすさや保護者や地域の目があるということが今の世の中安全なんじゃないかというお話やふれすぼ胎内周辺や胎内小学校周辺と比べれば、とにかく早く統合できるのではないかというお話がありました。ただし、大勢の子どもたちがあの狭い場所で自転車通学となると、心配な部分もあるのではないかという意見もありました。

以上です。

○委員長（小谷）

ありがとうございました。

続きまして、Dグループお願いします。

○指導主事（上山）

Dグループです。

出尽くしたところもあるのですが、最初の総合方式については、5名の委員中5名が全て新設統合をすることが望ましいというお話をいただきました。

全ての生徒が新しい意識でスタートするためには、やはり新設が良いのではないか、全て対等になったほうが良いのではないかというお話がありました。

また、吸収というと企業の吸収合併みたいでイメージが悪いよねということで、やはり新設統合が良いというのが全ての委員さんのご意見でした。

2つ目のテーマの設置場所についてですが、5名の委員の中で、1名の方が中条中学校あるいはその周辺、4名の方がふれすぼ胎内の周辺というご意見でした。

まず、中条中学校に関しては、通学距離とか周辺環境について良い場所であるということと、土地が市の所有なので、経費が抑えられるというところが良いのではないかということ。

ただ、ほかのグループでもありましたが、アクセスの改善のめどがあるのか、仮設校舎での生活が中条中学校の子どもたちにとって負担なのではないかというお話もありました。

ふれすぼ胎内の周辺については、周辺の市の施設の活用ができるのではないかというお話や、新しいところに作った方が夢があるというお話もありました。

また、周辺施設も充実しているので、ふれすぼ胎内周辺に立派な学校ができれば、近隣の市町村から引っ越しをしてでも新しい中学校に行きたいと思ってもらえるのではないかと、それぐらいのものができると良いねというお話がありました。

ただ、ほかのグループでもありましたが、ふれすぼ胎内の施設は利用することはできるけれども、教育活動の中で自由に利用できるというほど空きはないので、そこはそれほどメリットにならないのではないかというお話もありました。

以上です。

○委員長（小谷）

ありがとうございました。

大変短時間の中で、皆様から議論をしていただきました。

統合方式については、Bグループの方から、中条中学校の歴史などを継承しても良いのではないかという意見がありましたけれども、大多数の方は対等な統合ということで新設統合が良いというご意見のようでありますので、今日のところは各グループとも、新設統合ということでまとまったということによろしいでしょうか。

<拍手多数>

○委員長（小谷）

ありがとうございました。

統合方式については、新設統合の方向でということ、皆さんのお考えが一致したというふうに捉えさせていただきました。

望ましい設置場所についてですが、それぞれのいろいろな思いが出されました。

中条中学校については、やはり子どもたちを見守る地域の目があるところ、それから、産業文化会館や中条高校を始めとして様々な施設が近くにあるということで、教育活動がしやすいのではないかというご意見がたくさん出ました。

ただし、駐車場、アクセス道路について、狭い道路のところに年間200数十日通うというのも大変だなというご意見もあったようであります。

ふれすぼ胎内については、周辺に部活動で利用できる施設があること、そして、駐車場の台数が多く確保できそうだということ、アクセス道路が良いということではありますが、1つ発見だったのが、ふれすぼ胎内ではそんなに部活動をやっていないということでした。部活動に関して言えば、その活動に適したところに出かけていくということでありました。

ほかにも、広い敷地があって非常に良いですね、夢がありますよね。ただ、災害等のときに少し心配な面がありますねという意見が出されました。

胎内小学校周辺につきましては、そんなに意見が出てこなかったようであります。

また、例えば中条中学校のアクセス道路が改善できるのかというような皆様から心配いただいた点について、こういったことで改善ができそうだということ。ふれすぼ胎内周辺については、際限なく土地があるわけではありませんので、どのくらいの用地が確保できそうか、あるいは現在の中学校の用地がこのくらいの大きさなので最低このくらいの用地が必要ですよというようなことも含めまして、教育委員会の方から資料を示していただいて、次回、少し煮詰めていくということでいかがでしょうか。

今日のところは、中条中学校周辺、ふれすぼ胎内周辺が良いのではないかという

意見が多数あり、胎内小学校周辺が良いという意見もありました、そんなところにとどめておきたいと思います。

今日の意見を踏まえまして、次回以降の会議の方を進めてまいりたいと思います。

皆様ご協力、ありがとうございました。

(9) その他

<次回会議の日程調整>

<質疑応答>

(10) 閉会

○委員長（小谷）

以上で本日の会議を閉会いたします。

次回も皆様から忌憚のないご意見を頂戴して進めてまいりたいと思います。

本日はありがとうございました。